

横浜市立桂台中学校

学校だより



令和8年度 NO.5 令和8年9月16日（水）発行



深める

校長 笹原 洋子

今年の夏休みから9月の初めにかけて、地震や風水害など、多くの地域で被害が出てしまいました。日本国内にとどまらず、ネパールでも多くの町や人々をのみ込んでしまう土石流が発生しました。改めて自然の恐ろしさを実感した夏でした。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2学期の始業式で、生徒に「この2学期のテーマは『深める』」という話をしました。2学期に行われる『合唱コンクール』はその名の通り、合唱を披露するイベントです。しかし、不思議なもので、それぞれの人が上手に歌えるだけでは良い合唱にはなりません。良い合唱に仕上げるためにはクラスの仲間と心を合わせることがとても重要になります。心を合わせるといのは、『みんなと仲良くする』というのとは少し違います。良い合唱を作り上げるという目標に向かって、それぞれの人がお互いに違いも含めて認め合うことが大切なのではないかと思います。人の思いは違いがあって当たり前です。また、人によって頑張り方は違います。でも、クラスの仲間たちと心を合わせて合唱を作り上げられたら、きっと、仲間との絆はより深まると思います。

また、2学期は深まりゆく秋とともに学習にもじっくり取り組むことができる時です。自分自身に合う学習方法を探しましょう。そして、ただ暗記するだけではなく、いろいろなことと関連付けて、物事を深く理解できるようになると、本当の実力が身に付くのではないかと思います。皆さんが社会に出るころには、今よりももっとAIなどが発展しているでしょう。ですから、ただの知識ではAIに太刀打ちできません。その時に人に求められる能力は、課題を見つけて、課題の解決方法を考える力です。そして、人と協力しながら、粘り強く課題解決に向けて挑戦し続ける力だと言われています。桂台中では「桂の時間」などでもこのような力を育てたいと考え、取り組んでいます。学習への取組も深めていきましょう。

学校では週に1時間「道徳」という授業を行っています。私が小学生だったころにもありましたが、私の記憶ではテレビを観たり、読み物教材を読んだりして感想を書くような授業でした。今の道徳は教科書もあり、時には昔のように感想を書いて終わりということもありますが、生徒同士で意見交換をすることが増えました。意見交換をする中で、より多面的に考えられるように、また、他の人の考え方を尊重できるような態度も指導しようと取り組んでいます。これも、人としての考え方を深めるための取組です。10月10日（土）の土曜参観の時に、道徳の授業を実施する予定です。

子どもたちが考え方を深めようとしている様子をご覧いただきたいと思います。

